

第123号

こんにちは

# みささ議会です

令和3（2021）年

1月号



## 主な内容

- 町長・議長 新春対談 …………… 2～3
- 議会改革調査特別委員会・報告 ……… 4
- 12月定例会・常任委員会で慎重審査 … 5
- 議員5人が一般質問 …………… 6～11
- 議案の賛否・大好きみささ町 …………… 12

## 片柴の とんどさん

# 令和3年 町長・議長新春対談

## やるべき事をする年に



### 令和2年を振り返って

**司会** 新年おめでとうございます。恒例の「町長・議長新春対談」でお話をお聞きます。令和2年を振り返っての感想を伺います。

**町長** 新型コロナウイルス感染症に振り回された大変な年だったと思います。

それでも町民の皆さんの感染予防の徹底と習慣付けや、事業所さんの観光客を迎える環境づくりや予防策のお陰で今があり、早く元の三朝町に戻さなければと思います。

**議長** 町長が言われた通り、コロナで始まりコロナで終わった人類と自然界との付き合い方を考えさせられる1年でした。

### 重点取り組みされたことや成果

**司会** 松浦町政は3年経過しましたが重点取り組みや成果等をお伺いします。

**町長** 小学校校舎整備の基本計画を12月議会で認めていただき、令和元年の3校統合から多くいただいた要望が前進できることを嬉しく思います。これから小中連携教育も方向性を示し、新校舎環境での教育が進むように努めたいです。

また、情報化の要となる光ケーブルを町内全域に張り巡らす取り組みは、高画質テレビ放送や高速インターネットによる都市に負けない生活環境が整うと、充実した生活が進むと思います。

新システムで取り組む生活交通環境づくりは、今年秋から住民や利用者の皆さんのご意見も頂戴しながら進めています。

また、いろんな形で村づくりや農業の取り組みも進み、地域や集落での人の動きが見えてきたと思います。人材育成が町の力であり、協力し助け合い、災害時も安心安全が守れることと、子どもたち、若者たちの活躍の場、高齢者が健

康で暮らせる取り組みを進めなければと考えます。

### 議会改革への取り組み

**司会** 清水議長が推進されている議会改革についてお伺いします。

**議長** 昨年の3月に議会改革調査特別委員会を立ち上げ、12月に結論が出ましたが、まだ他にも協議が必要な項目もあり、町民と議会との距離をどう縮めるかが一番大切だと思います。

議員が出掛けて住民の要望を吸い上げ、各々がもっと勉強して資質の向上を図る必要があります。

### 人口減少対策や高齢者対策

**司会** 本町が少しでも人口減少を食い止めて高齢者も安心して暮らせるための政策をどのようにお考えでしょうか。

**町長** 人口対策は、生産年齢人口をどう固定化させ増やすかであり、町外からの移住定住を進めるためには、常に情報発信していく必要があります。

高齢者には日常の健康増進を大事にしてもらい、子育てには教育環境作りが大事かと思っています。

こうした点を踏まえ、新年から人口問題を整理しながら、町の施策の中で対策をスタートさせます。

**議長** 人口減少は日本全国で仕方ないことですが、町民が本当に良い町だと思える魅力をアップすることで、子育てしようかと思えるのではないのでしょうか。

**司会** 地元根付いていただくためには、修学旅行の町内宿泊は名案でしたね。

**議長** テレワークで仕事ができる時代になって、町内起業に重点支援があればと思います。

若者が都会に出たい気持ちは理解できますが、都会と負けない情報通信基盤ができると発注先の工場は全国にあり、アイデアとやる気があれば面白いです。

**町長** 商工会との懇談会でも思いましたが、これまでの政策は規模拡大が主で、新しい創業や町外からの人に理解不足でした。ある程度投資的な考えでの政策も大事かと思いますが、すごく進んだIT技術とかですと理解が難しいので、若者向けの政策にミスマッチがあるのかもしれませんが。定住支援も奥部に構える場合は1.5倍くらい柔軟でもよいのではないのでしょうか。

## 活気ある三朝町の実現

**司会** 農林業、商工業、観光業等が活性化するような取り組みを伺います。



**町長** まずはコロナ禍からの回復が大事ですが、観光面では日本遺産である三徳山と三朝温泉を中心に日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン温泉がテーマだと思います。ラドン熱気浴施設も再開でき、改めて温泉と健康の結びつきをPRして、自然や文化、体を動かすこととの組み合わせで令和時代の新しい観光振興を図りたいと思います。

農林業は、認定農業者や営農組織のような農業経営と一般の稲作農家への政策は区分し、生産組織や認定農業者、あるいは果樹農家などには、もう少し投資経費の助成や災害時の支援強化を図り、経営基盤体制を強くすることが大事です。また、一般農家には高齢化や後継者不足対策としてグリーンサービスと連携した農地活用を基本路線にすべきと考えます。

**議長** 町民の方々は本町が観光で食べている意識はなく、我々が非

常に大事に思うのとはズレがあるようです。

ある番組で、間伐材集合材会社への先行投資が紹介されていましたが、林業や農業に視線を向けることも大事だと感じました。

## 今年の抱負

**司会** 令和3年の松浦町長、清水議長、それぞれの抱負や思いを伺います。

**町長** コロナ禍終息への願いと、11次総合計画「笑顔と元気があふれ輝く町」への戦略を具体化し、「やるべき事はやる」との気持ちで一つ一つ前進させること、一人一人の力、地域の力をつけて町の総合力を高める、そんなまちづくりに取り組みます。

**議長** 私達議会がどのように町民に認められ、そして町民との距離をどう縮めるか、特に令和3年度は選挙もあり非常に大切だと考えます。今年は災害のない一年であることを願っています。



**【司会】**

議会広報常任委員会  
松原 成利委員長

※撮影のためマスクを外しています。

# 議会改革調査特別委員会・報告

令和2年3月19日に議員全員による議会改革調査特別委員会を設置。その後9回の会議を重ね多くの課題について慎重審議してきました。この度、12月定例会において報告書を議長に提出し調査を終了しましたので、その主な内容についてお知らせします。

## 1 議員定数について

☞議員定数は現状の12人とします。

本町における議員定数の推移や県内の状況等を踏まえて活発な意見が交わされました。

主な意見では

- ・削減することで住民の多様な意見を反映させることが困難になる
- ・定数の削減により常任委員会活動を停滞させ、議会での審議の低下が危惧される
- ・人口減少にあわせて議会のスリム化を行い財政的負担の軽減を図るべき
- ・議員自ら身を削って町民の理解を得ることで議員報酬の議論ができる など

最終的に、各委員とも人口減少等により将来的には定数の削減は必要になるといった認識では共通しているものの、現段階において定数削減について過半数以上の賛成を得られなかったことから、現状維持という結論になりました。

## 2 全員協議会について

☞定例的に月1回（定例会の月は除く）開催することとし、活発で円滑な議会運営に努めます。

## 3 議会報告会について

☞従来の「議会報告会」を「議会懇談会」に改め、テーマを決めて自由に意見交換できるものにします。

☞年2回（5月・11月）地域協議会毎の開催とし、地域協議会からも希望のテーマを募ります。

## 4 一般質問について

☞従来どおり、一問一答方式とし質問時間は答弁を除き20分とします。

☞ケーブルテレビでの放映に加え、インターネット放映についても検討します。

## 5 その他

☞デジタル化時代におけるタブレット端末の導入や議会基本条例の検討など、今後の検討課題として協議していきます。



# 常任委員会で慎重審査

委員会における主な質疑

## 総務教育常任委員会

### 損害賠償責任の一部免責条例

**問** 町長は6年分、職員は1年分となっている最低責任限度額は、町独自に変える考えはないか。

**答** 政令で定められた基準に沿ったものとしており、町独自の変更は考えていない。

### 鳥取県町村総合事務組合の共同処理事務の変更

**問** 対象となる消防団員退職報奨金と、賞じゅつ金とは何か。

**答** 賞じゅつ金は消防活動により死亡や障がいを負った団員に授与するもの。(※賞恤)

**問** 退職報奨金の額はどうか。

**答** 同額で変更はない。

### 国民健康保険事業・介護保険事業特別会計補正予算

**問** 電算改修が度々だが委託先はどこか。価格は適正か。価格検証する機関はあるのか。

**答** 鳥取県情報センターへ委託し、提示額を支払っている。検証機関があるか県へ問い合わせる。

### インフルエンザ予防接種補助

**問** その年の満65歳以上には補助が予算化されており、誕生日前でも接種を認めるべき。

**答** 現在は、誕生日前接種は個人負担としている。



インフルエンザ  
予防接種券  
(65歳以上)

### 小学校施設整備債務負担行為

**問** 債務負担行為だけでなく、予算計上はしないのか。

**答** 今年度中での支払予定はなく、令和3年度で予算計上を行う。

**問** 5年を超えない範囲とあるが、今、所在地を「本泉485番地5」とする改正は何故か。

**答** 実施設計の債務負担行為設定にあたり必要なため。

### 三徳山・小鹿溪保存活用計画

**問** 三徳山に対する国や県の考え方はどうか。

**答** 文化財の良さを生かす必要はあるが、根底には保存という考え方がある。

## 産業民生常任委員会

### 公共交通再編実施に併せバス停を整理すべき

**問** 地域公共交通再編実施事業によって、秋から主に小河内線と穴鴨線が再編される構想であるが、試験運行を経てから本格実施に向けるものか。

**答** 既存路線との兼ね合いから、試験運行はできない規定となっている。実施に向けて地域等、利用者への丁寧な説明を行っていききたい。

**問** 現在、バス停は設置者や管理者が不明確なものがある他、新規設置がなかなかされない状況にある。地域公共交通再編実施事業に併せ、必要な所には新設すべきではないか。

**答** 指摘のとおり、現在のバス停には様々な設置経過と状況、要望等があることから、課題を整理するとともに、必要に応じて対応できるよう検討していくこととしたい。

### コロナ対策の減免は国の補填か

**問** 三朝町新型コロナウイルス感染症克服プロジェクトで実施した事業者への上・下水道等の使用料の減免は国費で補填されるものと理解すればよいか。

**答** 国からの地方創生臨時交付金を財源に賄われるものと理解されたい。

### 有害鳥獣の捕獲状況は

**問** 今年度の有害鳥獣の捕獲頭数は、昨年度と比べてどうか。

**答** 今年度はシカの捕獲頭数が増え、昨年度の約2倍となっている。また、イノシシについても、1割程度増えている。この要因としては、猟期外の奨励金の増額によるものと推察している。



捕獲されたイノシシ

# 一般質問

一般質問は、議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

# あなたの声を 町政に

5人の議員が一般質問をおこないました。

三朝町は、執行部答弁を除き1人20分以内の制限  
時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、  
臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

ページ	質問事項	質問議員
7	1. 障がい者生活支援について 2. 情報通信基盤設備改修事業について	松原 成利
8	1. 農業者への支援	藤井 克孝
9	1. 人口減少社会における市町村連携・市町村合併について 2. 消防団の再編、広域行政消防署の分署設置運動について	牧田 武文
10	1. 過疎化が進む奥部集落への対応 2. 農業を維持するための方策は	遠藤勝太郎
11	1. コロナ禍から町民の生活を守るために 2. 小学校における伝統活動の復活について	山口 博

※ケーブルテレビでは、一般質問後の最初の日曜日に、一般質問の録画放送を行っています。

## 福祉

## 問 障がい者生活支援の充実を

## 答 着実な推進に努めているところ

## 福祉機器の活用策や福祉制度の充実を

松原

障がいをお持ちの方には特に厳しい事態だが、少しでも不自由が減るよう、計画的対応と制度の充実や生活必需品指定の拡大等が重要では。

町長

地域で共生する社会の実現を目指して、第3期障がい者計画、第5期障がい福祉計画、第1期障がい児福祉計画に基づき着実な推進に努めている。

## 生活必需品指定の拡大も必要

松原

日々進化する福祉機器の活用策は迅速が重要。

町長

社会情勢変化に応じた対応が必要だが、障がい者団体からの意見要望もあり、利用者の要望や相談を精査して、周辺市町の状況や日常生活用具給付事業等の国の基準に照らし見直しを行っていく。

## 必需品指定の予算対応等は

松原

スマホの入力支援機器の必需品指定を例に挙げたが予算措置等はどうか。

町長

障害者福祉協会に聞き取りするが、担当課では調査しながら対応するべく進めているところ。



松原 成利 議員

## 援護や介護等の対応は

松原

視覚障がい者の同行援護や盲ろう者通訳介助等は、サービス事業者側の事情もあるが状況は。

健康福祉課長

視覚障がい者で同行援護を受けられる方の他、鳥取県聴覚障害者協会に委託し、手話通訳の派遣、また、手話奉仕員養成研修会や余暇活動の場を設けてもらい、一市四町で委託料を払っている。

## インフラ

## 問 情報通信基盤設備改修事業

## 答 事業の内容周知に努める

## 引き込み工事対象の明確化を

松原

町内全域での工事との説明からか、一律全家庭に光ケーブル設置工事が行われるとの誤解があるのでは。

町長

平成15・16年に整備した住民ネットワークの老朽化と将来を見据えた放送・通信基盤構築への更新を図るもので一律全家庭ではない。

地域振興監

新規加入申し込みは日本海ケーブルネットワークを窓口とする方針で進めており、誤解がないよう情報提供も加えたい。

## 新規加入が受ける恩恵の周知を

松原

民間事業者NCNの営業努力による点はあるが、誰もが高速通信網の恩恵が受けられることの説明が大事では。

地域振興監

加入手続きや負担は従来ルールを適用し、加入促進につながるよう申し入れている。



光ケーブル設置工事

## 鳥取中央有線放送との相互連携を

松原

一市四町中部は一つの観点からも、自主製作番組や議会放送の相互視聴を実現すべき。

町長

相当の経費がかかるようであり、利用者のニーズも調査しながら、機会を捉えてNCN、TCC等へ働きかけたい。

## 問 農業者への支援は

答 人・農地プランを将来の設計図に

### グリーンサービスの現状と方向性

藤井

主要な担い手であるグリーンサービスの水田受託の現状と今後の考え方を伺う。

町長

水田受託は増加傾向にあり、受け入れが難しくなっている。今期から水田受託の受け入れ等について検討が進められており、状況を見て支援をしていきたい。

農業委員会会長

グリーンサービスは地域農業を支える中心的な存在であり、連携を密にして水田の維持・発展に努めていきたい。

### 水田農家へ一層の支援強化を

藤井

水田農家に対し、一層の支援強化をすべきでは。

町長

現在進めている人・農地プランを将来の農業設計図として推進していきたい。



「有限会社グリーンサービス」職員

農業委員会会長

担い手の確保、育成に力を入れないことには農家支援にはなり得ないと考えている。

### 農地の維持管理は

藤井

奥部の農地や荒廃農地を今後どう管理していくのか。

町長

荒廃農地の現状を調査しながら、林地や畑地に活用するなど、地域に合った活用をすることも一つの方法であり、継続して考えていく必要がある。

農業委員会会長

守るべき農地とそうでない農地の区分けを各集落で検討いただき、必ず守っていこうという部分を共有していきたい。



藤井 克孝 議員



農作業の様子

### 農業者への支援を

藤井

担い手に対し、面積に応じた支援を考えるべきではないか。

町長

経営規模ではなく、農業経営の計画が大事だと思っている。計画性のあるものについて支援体制を強化していきたい。

## 広域

## 問 これからの市町村連携の考え方は

答 広域連携を一層強固なものにしていく

## 鳥取中部ふるさと広域連合のこれからは

## 牧田

中部での取り組みを評価しているが、将来展望は。

## 町長

中部は早くから広域行政への取り組みを進めてきた。人的資源の不足の中、全ての業務を単独で行うことは難しく、一層積極的な広域連携の構築に向けて取り組んでいく。



各ケーブルテレビ事業ガイド

## 令和の市町村合併について

## 牧田

人口減少社会での人材不足から市町の存続が危ぶまれる。今後の三朝町は。

## 町長

専門職員の確保や公共施設の老朽化、人口問題などがこれからの共通課題。広域連携の強化で魅力的な中部圏域をつくりながら、それぞれの市町が切磋琢磨していくべき。



牧田 武文 議員

## 中部は一つ、情報の共有化は

## 牧田

ケーブルテレビの一体化、情報の相互乗り入れはできないか。

## 町長

中部の2つのケーブルテレビ事業者の一体化は難しいと推察する。事業者には、番組の相互乗り入れなど視聴者のニーズがあることを伝えていく。

## 消防

## 問 消防団の再編と広域消防の分署設置を

答 再編計画を進めるが、分署は効果的ではない

## 消防団組織の再編は

## 牧田

団員不足により、小型ポンプや消防車の維持管理が困難な班があると聞く。再編を考えるべきでは。

## 町長

将来的な団員不足に備え、関係者から意見を伺いながら再編計画を進めていく。

鳥取中部ふるさと広域連合  
倉吉消防署

## 役場班の設置はどうか

## 牧田

職員への負担はかけたくないが、早い対応ができるのではないか。

## 町長

地域の班での活動を優先するのが望ましいと考えている。

## 中部広域消防の分署の誘致は

## 牧田

地理的な面からも役場周辺に拠点を誘致してはどうか。

## 町長

道路整備や指令センターの機能充実により、現場到着時間の短縮が図られている。今後も、より早い現場到着に向けシステム体制の構築を要請していく。

# 過疎

## 問 過疎化が進む奥部集落への対応

答 直接出かけて意見を聞く

### コロナ禍を移住につなげられないか

遠藤

空き家対策として、コロナ禍を利用して住人を呼び込むことはできないか。

町長

コロナの中変わり始めたサテライトオフィスといった環境整備をPRし、移住を呼び込む糸口にするなど、いろいろなパイプを広げていくことが大事。

### 山間部未整備田を活用した特産品作りを

遠藤

山間部未整備田を活用した特産品作りの取組支援を。

町長

農家と相談し、助成や支援の方法が生産振興につながるか知恵を借りながら進めたい。

遠藤

敵地適作も考え品目選定を協議し、モデル的にでも取り組みを始めては。

町長

新年度の1つの農業振興の形として作ってみたい。

### 奥部集落の要望反映を

遠藤

奥部集落で今何が一番必要かアンケートを取り、要望を行政に反映しては。

町長

直接出かけて行き、集落の人に話を聞きたい。

### 山林の有効活用が必要

遠藤

山林が町面積の88.5%を占める町にとって、これを有効活用し金にする手立てが必要だと思うが。



遠藤勝太郎 議員

町長

戦後植林された木が伐期を迎え、長引く木材価格の低迷により森林整備が滞っている。木材搬出等価値を高める取組は実施したが、所得向上にならなかった。

遠藤

以前県産材を使用して住宅建築すると補助が出た。町産材を使って住宅建築に町独自の助成はできないか。

町長

国、県の制度を活用しながらそれにプラスするなど考えてみたい。今回の小学校整備に町産材を活用するなど、これを機に林業振興に結びつけたい。

# 農業

## 問 農業を維持するための方策は

答 三朝米や神倉大豆の振興に取り組み所得向上へ

### 米主体の本町農家への支援は

遠藤

農家も米の消費減少、新米価格の低下と厳しい立場。米主体の本町でどう対処するか。

町長

米の消費減少に拍車がかかる反面、作付面積の減少は緩やか。付加価値を付けて販売しなければ経営が成り立たない現状。

遠藤

「きぬむすめ」が食味ランキング特Aを取得したが、農家へのメリットがない。販路拡大等により再生

産可能な価格維持が必要。

町長

JAと連携し、三朝米と神倉大豆の販路拡大に取り組んできた。安定供給をする体制が必要。

遠藤

農家への支援は。

町長

農業経営を行う担い手農家、認定農業者、集落営農組織に持続してもらう必要があり、必要な機械投資等を軽減し、スマート農業といった新分野での展開を進め収益性の高い農業経営に支援する必要がある。

### 次の転作作物の選定を

遠藤

米による収益の減少に伴い、農地委託の増加が予想される。米、神倉大豆に次ぐ作物が必要と思うが。

町長

これまでいろいろな提案もあるが、新規作物と併せて長年取り組まれた少量多品目の野菜、山菜の活用も次世代へつなげることに力を入れたい。又、新しい転作作物も実証展示圃を設けるなどし、粘り強く推進したい。



三朝米

## コロナ対策

## 問 コロナ禍から町民を守るための次の一手は

答 状況を見ながら必要な対策を適宜実施する

## 旅館等の現状把握のヒヤリングは

山口

9月議会の一般質問で町長は旅館等のその後の状況をヒヤリングしてみたいとのことであったが実施されたか。

町長

以前のようなまとまったヒヤリングはしていないが、機会ある度に商工会等から意見や実情を聞いている。各団体トップと定期的に意見交換をしたい。

## 既定施策に加えて息の長い施策が必要では

山口

アフターコロナ・ウイズコロナ対策として、初期施策に加えて息の長い施策が必要ではないか。

町長

今定例会に町内・県内を対象に「We Love みささキャンペーン」を提案しており、さらに状況に応じた支援を行っていききたい。

## 外出自粛で運動不足の町民への健康対策が必要だ

山口

多くの事業等が自粛や延期になり、フレイル（筋力低下）など町民の健康面が心配である。

町長

その対策として、町では健康日記帳作成や健康マイレージ事業を実施して、予防に取り組んでいる。



山口 博 議員

## 他町に先駆ける施策を

山口

73兆円を超える政府の追加補正予算を活用して、他町に先駆け、素晴らしい施策の提案を期待したい。



旅館等のコロナ対策は

## 教育

## 問 伝統ある「東小太鼓」、「金管バンド」、「さいとりさし」の復活を期待

答 新たな取り組みも含め三朝小学校の新たな伝統の創造を

## ふるさと教育の一環として伝統的活動の復活や創造を

山口

ふるさと教育としての伝統ある旧小学校での「東小太鼓」、「金管バンド」、「さいとりさし」の復活や新たな伝統の創造されたい。

教育長

新しい学校を作り上げていく中で、先ず学校教育を主に置き、次に特別活動やふるさと教育に力を入れることになる。

地域の人たちの力を借りながら各校の特色ある伝統活動の形を変えながら三朝小学校の新たな文化ができつつある。



伝統的活動の復活を



三朝中学校2年  
藤井 はる

### より住みやすい町になるために

私は、この三朝町がより住みやすい町になるために、まずは高齢者に優しい町にしていきたいです。なぜかという、これから高齢者の方が多い町だと思っているからです。そして、そのためにも、公衆トイレなど様々な場所以、もっとユニバーサルデザインを取り入れ、使いやすくなるとよいと思います。そして、それは高齢者だけでなく、観光客の方々にも喜ばれることだと思います。町民が住みやすいと感じる町は、観光客にとっても楽

しいと感じる町だと思います。そのために、様々な所にユニバーサルデザインの視点を取り入れ、誰もがすばらしいなと改めて感じられる「三朝町」を目指していくことが大切だと思います。これから先も、ずっと住民が楽しい、住みやすいなと思える三朝町を大切にしていきたいです。

### 【議案に対する賛否】

議案番号	議案名	議員名(議席順)	松原 成利	松原 茂隆	石田 恭一	吉田 道明	山口 博	藤井 克孝	遠藤勝太郎	福田 茂樹	平井 満博	山田 道浩	牧田 武文	清水 成眞	結果
<b>(11月臨時会)</b>															
<b>町長提出議案名</b>															
91	令和2年度三朝町一般会計補正予算(第6号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
92	令和2年度三朝町水道事業会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
93	三朝町町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
94	三朝町職員の給与に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
<b>(12月定例会)</b>															
<b>町長提出議案名</b>															
95	令和2年度三朝町一般会計補正予算(第7号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
96	令和2年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
97	令和2年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
98	令和2年度三朝町下水道事業特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
99	町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の設定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
100	三朝町税条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
101	三朝町督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
102	三朝町国民健康保険税条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
103	三朝町立中学校及び小学校設置条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
104	鳥取県町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び同組合規約の変更に関する協議について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
105	工事請負契約の締結についての議決の一部変更について(第6水源ポンプ場電気設備工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
106	財産の取得について(教育支援バス)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
107	監査委員の選任について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
<b>議員提出議案名</b>															
8	保健所の機能強化を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。 ※清水成眞議長を除く11名の賛否状況です。

### 【陳情】 12月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
保健所の機能強化を求める意見書の提出についての陳情	足羽 佑太	採択 意見書提出	保健所の役割は大きく、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、更なる機能強化を図るべきである。
日本学術会議議任拒否問題に係る真相究明等を求める意見書の提出についての陳情	足羽 佑太	不採択	国で対応されるべき問題であり、一地方議会で議論すべき問題ではない。
地方消費者行政の拡充を求める意見書の提出についての陳情	足羽 佑太	趣旨採択	交付金の拡充を求めるだけでなく、これまで以上に国と地方の連携を強化すべきである。
全国知事会の提言に基づき、新型コロナウイルス禍における日米地位協定の抜本的改定に取り組むよう国及び関係機関への意見書提出についての陳情	沖縄と連帯する とつとりの会	不採択	国で対応されるべき問題であり、一地方議会で議論すべき問題ではない。

発行責任者  
議長 清水 成眞  
編集 議会広報常任委員会  
委員 松原 成利  
委員 藤井 克孝  
委員 山口 博  
委員 平井 満博  
委員 石田 恭一

コロナ感染症の拡大により、オリンピックも延期されるなど、私たちの社会生活は一変し、全世界が未知のウイルスに翻弄された一年でした。ワクチン開発が最終段階に入っており、効果、持続期間は未知数ですが、特効薬がある事で安心感が得られ、早期の開発が望まれます。ウイルスは身体の粘膜部分から侵入すると言われています。今までのインフルエンザ予防を遵守する事と、三密を避けることをしばらく続ける事が大切です。近いうちに人類の生命力と科学力がコロナに対応して行くでしょう。しかし、これから先も新型コロナウイルスとの戦いは終わる事はありません。今年が楽しく暮らせる一年なることを期待したいと思います。

(石田 恭一 記)

